

忌 避 剤 アンレス	取扱メーカー： 日本曹達 原体メーカー： 大内新興
成分： チウラム〔PRTR・1種〕……………80.0%	性状： 類白色水和性粉末45μm以下 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- 農作物を加害するスズメや野ネズミ、野ウサギ、などの獣類に対して強い忌避効果を発揮する。
- 樹木に忌避剤として使用する場合、秋から初冬の1回処理で翌春の融雪時期まで残効がある。
- 種粒処理では、ごま葉枯病菌、いもち病菌などによる苗立枯病予防にも効果がある。
- 忌避効果は食味により現れる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- 希釈液の作り方は、まず本剤に少量の水を加え、よく練ってから所定量の水を加え、さらによくかきまぜ作る。
- 種粒に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - 希釈倍数、浸漬時間を厳守する。浸漬後2～8時間風乾した後は種する。
 - 発芽粒には使用せず、乾燥粒又は48時間以内の予浸粒に使用する。
 - 箱まき、バットまきなどでは使用しない。
 - 粉衣処理は、処理量によっては薬害のおそれがあるのでさける。
 - 他の病害の種子消毒を行う場合は本剤の処理前に行う。但し、チウラムを含む製剤との重複処理はさける。
- 樹木類に使用する場合は次の注意事項を守る。
 - 被害を受けやすい樹幹部全体に刷毛等で塗布する。

- 散布の場合は噴口がつまるおそれがあるのでよくかきまぜ、穴が大きい目の噴口を使用し、散布ムラのないように十分散布する。
- 秋から初冬にかけて使用するが、処理した薬液が凍結すると固着性が悪くなるので、凍結のおそれがない時に使用する。また降雪地帯では根雪になる前に処理する。
- 処理後24時間は降雨がないことを見越して使用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- アンレス浸漬時間は1～2分間程度とする。

【安全対策上の注意】……………

- 魚類に強い影響、甲殻類、藻類に影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 眼に対して強い刺激性があるので、薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- カブレやすい体質の人は、取扱いに十分注意する。
- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用病害 鳥獣名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤及びチウラムを 含む農薬の総使用回数	使用方法	
稲	スズメ、野ソ 苗立枯病	10 倍	――	は種前	1 回	種籾を浸漬(1～2分) し、風乾後は種する	
桑	野ウサギ 野ソ		30～60 ℓ /10a	――	――	――	樹幹部に散布 又は塗布する
あ か ま つ か ら ま つ す の ぎ ひ ん ぎ り ん ぎ							
					5 回以内		